

動詞の形の変え方のコツ <ページ5>

ただし例外も少なからずある...

by ~ 以外で動詞が過去分詞になる例 :

the letter [written] in English 「英語で書かれた手紙」(「~語で」という時は in ~ と表す)

the watch [made] in Japan 「日本で作られた(日本製の)時計」

(made in どこどこ、という表現はよく見るね)

the man [known] to everyone 「皆に知られている男」

(be known to ~ 「~に知られている」は熟語として覚えておくといいかも)

問題練習をたくさんしていると、こういった「例外」に出会うことがあると思うので、

そんな時は、「ああ、これは by ~ じゃないけど過去分詞になるパターンね」と思っておいてね(^o^)

=====

4 to + 動詞の原形 になる例

(1) 一般動詞 **want / hope / decide** → これらの後ろに来る動詞は必ず **to + 動詞の原形** !

例題) I want [buy] a new car.

↓
注目すべきは、“want” の後ろにこの[]の部分があるということ!

「want, hope, decide の後ろは to + 動詞の原形」という鉄板ルールがあるので、

この buy は to buy となるのが正解(^o^)/

解答) I want [to buy] a new car. 和訳: 私は新しい車を買いたい。

例題) I want Ken [go] there.

↓
“want” と [] の部分の間に “Ken” という人名が入り込んでいるけど、

「want + 誰々 + to + 動詞の原形」という文型があるので(“動詞 dictionary” 参照のこと!)、

やっぱり「want, hope, decide の後ろは to + 動詞の原形」という鉄板ルールが適用されるよ♪

解答) I want Ken [to go] there. 和訳: 私はケンにそこへ行ってほしい。

その② **ing 形**になる例 の (1) と同じく、「鉄板ルール」なのです。

知っておけば必ず得点できるので、頑張って覚えておこう(^▽^)φ

===== おまけ情報 =====

ちなみに、try という動詞は、

- ・ try + ing 形
- ・ try + to + 動詞の原形

という2種類の文型があります。

でも、中学校で習うぐらいの英語の問題なら、出てくるのはほぼ2番目 (try + to + 動詞の原形) のみ!

だから、want, hope, decide にプラスして try も、

後ろに「to + 動詞の原形」が来る動詞の仲間として覚えておいてもいいかもね(^o^)/

=====